

2023.8.10

No1

私たちはどう生きるか? どう働くか?

先月の朝礼でも話したように、ある店舗の店長が不正を働き、会社のお金を私的に横領する事件が起きました。

正しい働き方を指導する立場の人が起こした事件だけに、大きなショックを受けています。関係する店舗のメンバーにも大きな衝撃と不安を思っています。また、調査や、事後処理のために通常の業務をこなしながら時間を費して下さるに面々には、申し訳ない思っています。普段人の上に立つ役目でしたから、直接指導を受けた方は裏切られたと感じたおもしろれません。

私自身、熱を込めて正しい働き方について語っていた店長でしたから一言では言い表せない複雑な心境です。

表面に見えていた部分と、心の中で育っていた考えがどれほどまでに違っていたのにも気付けなかった未熟さや、「この会社で不正などしたくない」と踏みとどまらせられなかった、己の人徳の無さを痛感しました。おためため、私達が仕事をする上で、普段の生活をどのような道徳感で生きているのか? という事によって大切な事だと思いました。同時に、発見が遅れる仕組みも見直さなくてはと思います。これからは魔が刺す場面があつたとしても実行したくないようなチェック体制を強化する事で未然に防ぐのも愛情だと思ってきました。働く人を疑い、監視するのではなく、きっちりした管理の結果、ミスや不正が生まれにくい、見過されにくいようにしていくつもりです。

一番の理想は、最初から不正な行わない人ばかりになる事です。これまでもそれを目指して理念を大切にしてきました。私達の会社に理念教育に力を入れている事はおそらく働いている人達皆が認めるところだと思います。そのため時々研修に呼ばれて忙しい中時間を割いて参加する事に不満を感じている人々も居る事でしょう。でも、お客様全員に同じサービスの質を提供して、同じように喜んで戴こうとすると、

創業者がどのような思いで会社を立ち上げ、どのようにお客様に喜んで貰いたいと願っているのかという事を、新しく入社した人へも共有しなくてはなりません。

2023. 8. 10

No.2

また、レンタルサービスを提供する人、ケアサービスを提供する人、事務、メンテ、倉庫、それぞれの分野で行う仕事が違います。レンタルをする人達は、やるべき事は共通していますが、それぞれの「考え方」や「道徳感」にはとてつもないギャップが生じているのではないのでしょうか？ 同じように、ケアでも事務でも同じ仕事をしていても考え方は皆違うものです。性格も違いますし、これまで受けてきた教育も違います。何を目標として生きているのかも違うので、「人のあたりまえ」は自分のあたりまえではないのです。

このようなバラバラな考えの人が集まって、同じサービスを提供しようとしているのですから、方針を決めたり、「志」やビジョンを共有しつつ、マニュアル化した動きも取り入れないと、全員が自己流になってしまいます。お客様は担当者が誰であろうともダスキンで提供されているサービスが同じレベルで受けられる事に期待しています。それで、せめて同じ会社で働くのですから、会社全体でどこを目指して進んでいるのか？という事を共有して、人の考え方や価値観は違えど、同じ方向を目指して歩みを進めるようにしたいと呼びかける事にしたのです。よく研修で話をしている円錐形の話はこういう事です。

今回の事は痛みをとまなう学びとなりました。

やはり、「正しい考え」を持たないと、見せかけだけ同じ方向を向いているようになってしまいます。表面上利他的なそぶりをして心の中では自分の欲を満たす事を考え続けているならば、いつか行動に影響が出てくるでしょう。

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、

習慣は人格となり、人格は、その人の人生となる」

と、マーガレット サッチャーは語ったそうです。

人の人生を決めるのは、「考え、心」とも言える言葉です。

この度の事件でも やっではいけない事 だという事は、頭では理解していたはずですが、心の中では自分の思い通りにしたいという考えを育て

2023. 8. 10

163

しま、たのために、やめて行動を起こすまでになり、  
そして習慣となってしまったのでしょうか。

そうであれば、どう働くか？ という事と、何を考えてどう生きるか？  
という事は非常に密接なテーマではないでしょうか？

人への愛情、正直さ、謙虚さ、穏やかさ、勤勉さ、辛抱強さ、  
自制心、親切心、等々、身につけるよう努力して生きるか。

それとも、ただ己の心が渴望するまま、好きなように生きるのかで  
生み出す行動と、得る結果は、大きく変わるのではないのでしょうか？  
これは仕事だけでなく、家庭においても同じです。

仮に会社では活躍して上司に褒められても、家庭では「素の自分」  
が出て家族に対する態度が冷たいもので、隙間が出来ているならば  
望ましい状態ではありません。

私が目標としているのは、働いているみなさんと、その家族にも応援される  
良い会社に作り上げる事です。

皆に健全な精神で仕事に取り組み、お客様に喜ばれる事で自分も  
嬉しく楽しく働いている姿を見られるならば私にとってこの上ない喜びです。  
このきっかけに、自分は何のために生きているのか？ この先どう生きるか？  
と真剣に考えてみるのはいかがでしょうか？